

# おばま 市議会だより

No. 184

新体制で  
始動!



## 総務民生常任委員会

竹本雅之  
小澤長純

牧岡輝雄  
下中雅之(委員長)

東野浩和  
浦谷梨華子(副委員長)

岡泰宏  
武長由里子  
富永芳夫



## 産業教育常任委員会

川代雅和  
今井伸治

池田英之  
佐野達也(委員長)

世戸玉枝  
藤田靖人(副委員長)

上野一  
池尾正彦

企業振興助成金などの補正予算案を可決  
議案書の公開を始めました

## 委員会活動を報告します

### 「市営住宅の施設管理について」市長に提言しました

#### 産業教育常任委員会

本市が管理する市営住宅は築30年以上が経過した住宅が大半を占め、住宅の維持管理や新たな住宅の整備等の対策が急務となっています。今後、人口減少等によって市営住宅の需要も減少していくことが予想されることから、その更新時期を転換点と捉えて、今後必要となる戸数を適切に把握するとともに、財政状況を考慮に入れ、計画的かつ効果的に整備することが重要となります。

そこで、産業教育常任委員会では市営住宅の施設管理について議論を重ね、次の3項目の取組みが必要であるとの結論に至りました。

5月29日には、小浜市公営住宅等長寿命化計画の見直しをはじめ、市営住宅の整備を進める上で留意すべき事項を市長に提言しました。

#### ■ 提言した3項目

### 戸数の適正化に向けた計画的な取組み

適正な管理戸数を一律に設定できるものではないが、既存の市営住宅の更新時期に合わせて、機を逃すことなく適正な管理戸数を判断することが必要です。

### 入居者のニーズに合わせた整備の実施

今後の整備方法を検討するに当たっては、費用対効果を念頭に置きつつ、入居者のニーズに合わせた整備を進めることが必要です。

### 新たな整備方法の検討と、状況に応じた最適な方法の選択

市営住宅の供給が可能な民間事業者との連携による市営住宅の整備について検討を進めるべきであると考えます。その上で、新たな市営住宅の整備に当たっては、初期費用の他、住宅の供給が必要となるまでの期間や市内の住宅事情、地域への影響などの要素を総合的に判断し、状況に応じた最適な方法を選択することが必要です。



杉本市長(左から2人目)に提言書を手渡す藤田議長(右から2人目)と川代産業教育常任委員長(右)(令和7年5月29日、役職は当時のもの)

※調査内容の詳細は、議会ホームページをご覧ください。



### 一日も早い全線開業に向けて

#### 北陸新幹線早期全線開業特別委員会

本委員会は、北陸新幹線早期全線開業に向けての取組みに関する調査・研究および全線開業に伴うまちづくりに関する調査・研究を目的に令和5年6月に設置され、調査活動を続けてきました。

### 早期全線開業に向けた取組み

国等に要望活動を6回実施し、早期全線開業を求める意見書を2回提出しました。また、嶺南市町全体の意識統一や機運醸成を目的に、美浜町議会との意見交換会を実施しました。

### 全線開業に伴うまちづくりの調査・研究

埼玉県熊谷市および富山県高岡市の行政視察を行い、新幹線を活用したまちづくりや新幹線定期券購入費用の補助制度、新幹線駅と在来線駅との接続についてなど、さまざまな取組みについて知ることができました。

北陸新幹線小浜・京都ルートは、福井県や嶺南地域の飛躍的な発展に寄与するとともに、大規模災害時には東海道新幹線の代替機能を果たすなど、国土強靱化を図る上で非常に重要な国家プロジェクトです。

しかしながら、認可・着工の先送りが続く中、京都市会が同市内の大深度トンネルルートに反対する決議を可決するなど、北陸新幹線を取り巻く環境は予断を許さない状況となっています。本委員会としては、今年度を正念場と捉え、国などに対し、より一層強く働き掛けてまいります。

## 議会改革にまい進中

### 議会運営委員会

市議会では、「市民と共に歩む開かれた議会」を目指し、平成24年に小浜市議会基本条例を制定して以来、継続して議会改革に取り組んでいます。

### 政策形成サイクルの明確化

政策討論会の活用促進に向けて、その開催の目的や議案の提出基準を小浜市議会基本条例に明文化するとともに、政策形成サイクルの明確化を図りました。議員または委員会が議案の提出等を行うとするときは、原則として政策討論会を開き、議員全員の合意形成を図るよう努めることを確認しました。

### 議会・議員活動の透明性の向上

市議会議員が守るべき政治倫理基準等を見直し、小浜市議会議員政治倫理条例の全部を改正するとともに、議員とその親族の市に対する請負の状況等の報告義務を定めた条例を制定しました。パブリックコメント制度実施要綱を制定し、市民の皆さまの意見を反映するための体制整備を行いました。

### DXの推進

タブレット端末の使用に関する規定を整備し、ペーパーレス会議に完全移行しました。災害などの非常時においても委員会をオンラインで開くことができるようにするため、条例の改正を行いました。

## 議員報酬・常任委員会の在り方の検討

議長の諮問を受け、約7か月の間に15回の委員会を開催して検討を進め、令和6年11月に議長に答申しました。

議員報酬については、今後の社会経済情勢を考慮し、改めて検討することとしました。常任委員会の在り方については、委員会審査での質疑に向けた論点抽出の手法を研究し、論点抽出表を今後活用することを決めました。また、論点抽出の過程で活発な議論を行うため、自由討論の実施要綱を制定しました。



答申書を藤田議長(左)に手渡す富永議会運営委員長(令和6年11月22日、役職は当時のもの)

※答申の詳細は、

議会ホームページを  
ご覧ください。



## より開かれた議会を目指して

### 広報推進特別委員会

本委員会は、おばま市議会だよりの編集および発行、多様な手段の活用による議会広報についての調査・研究および企画を目的に設置され、約2年間で計30回の委員会を開催し、調査・研究を行いました。

### おばま市議会だよりの編集および発行

レイアウト等を工夫し、伝わりやすさを第一に考えた紙面づくりを行いました。予算議案および条例議案、請願・陳情の審査においてどのような質疑があったかや、自由討論の中でどのような意見が出されたかを詳しく掲載することにより、慎重に審査を行っていることが伝わる紙面とすることを重視しました。

### 多様な手段の活用による議会広報についての調査・研究

議案書を定例会等の開会前に公開する方針を決定しました。(詳しくは12ページをご覧ください)。今後も、議会基本条例に掲げる「市民と共に歩む開かれた議会」の実現を目指して、おばま市議会だよりの発行をはじめとして、議会活動に関する情報の積極的な公開に取り組む必要があると考えています。

※広報推進特別委員会としての調査・研究は終了しました。今後は、広報委員会において、おばま市議会だよりの編集等、情報提供の充実に向けて活動します。

# 変わりました

を迎え、新体制で始動

## 議長就任の挨拶

第52代 議長



たけもと まさゆき  
竹本 雅之

このたび第52代小浜市議会議長に就任いたしました竹本雅之でございます。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しております。議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、本市を取り巻く環境は年々変化しております。厳しい財政状況の中で、少子高齢化社会への対応、医療・福祉・教育の充実等、重要な課題が山積しております。

そのような中、本市の発展に欠かすことのできない北陸新幹線については、一日も早い全線開業を実現するため、「北陸新幹線早期全線開業特別委員会」の委員定数を、これまでの9人から、議長を除く全議員16人とし、強力な体制を整えました。

議会報告会などを通して、市民の皆さまにとって、より身近で開かれた議会を目指して、誠心誠意努めてまいります。

今後とも、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます、議長就任のご挨拶いたします。

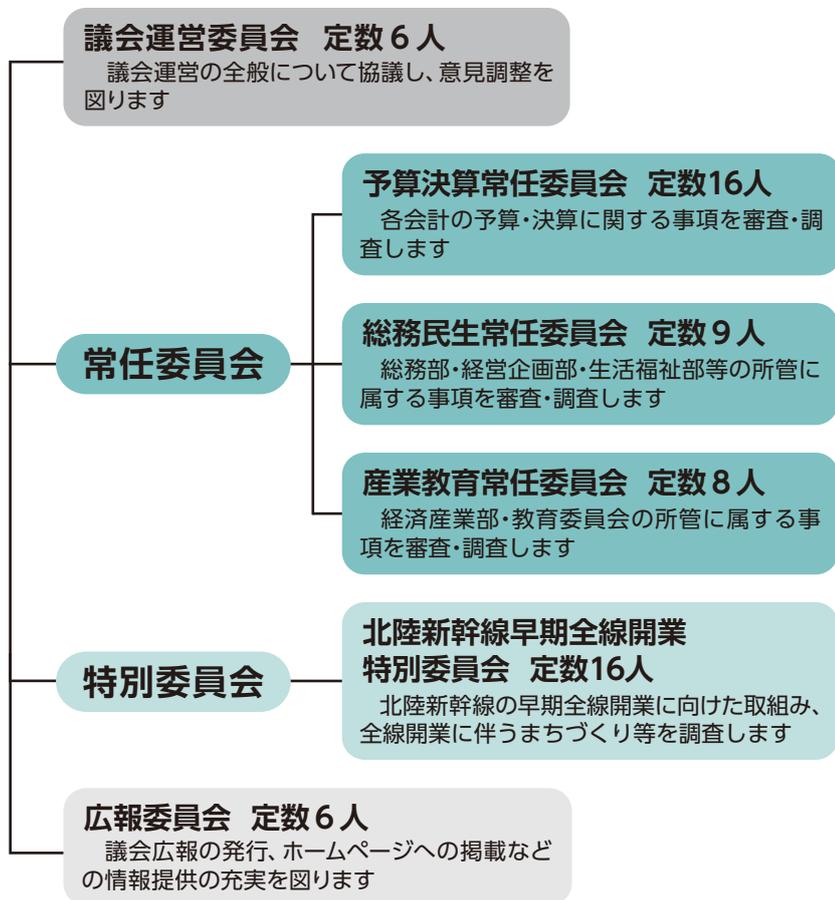
## 副議長の紹介

第61代 副議長



かわしろ まさかず  
川代 雅和

## 小浜市議会組織図



委員会の詳しい情報は、ホームページをご覧ください



# 議会の組織構成が

4年ある任期の折り返し

## 議会運営委員会



池田英之 今井伸治 下中雅之 藤田靖人  
小澤長純 (委員長) 富永芳夫 (副委員長)

## 広報委員会



武長由里子 世戸玉枝 池尾正彦 佐野達也  
牧岡輝雄 (委員長) 浦谷梨華子 (副委員長)

## 予算決算常任委員会

|      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 川代 雅和       |
| 副委員長 | 富永 芳夫       |
| 委員   | 全議員 (議長を除く) |

## 北陸新幹線早期全線開業特別委員会

|      |             |
|------|-------------|
| 委員長  | 藤田 靖人       |
| 副委員長 | 下中 雅之       |
| 委員   | 全議員 (議長を除く) |

※総務民生常任委員会、産業教育常任委員会の委員紹介は、表紙に掲載しています。

## 一部事務組合

### 公立小浜病院組合議会

定数10人

|    |        |
|----|--------|
| 議長 | 牧岡 輝雄  |
| 議員 | 上野 一   |
| // | 世戸 玉枝  |
| // | 武長 由里子 |
| // | 東野 浩和  |
| // | 川代 雅和  |
| // | 岡 泰宏   |
| // | 小澤 長純  |
| // | 今井 伸治  |
| // | 池尾 正彦  |

### 若狭消防組合議会

定数7人

|    |        |
|----|--------|
| 議長 | 藤田 靖人  |
| 議員 | 浦谷 梨華子 |
| // | 佐野 達也  |
| // | 竹本 雅之  |
| // | 池田 英之  |
| // | 下中 雅之  |
| // | 富永 芳夫  |

### 嶺南広域行政組合議会

定数4人

|    |       |
|----|-------|
| 議員 | 佐野 達也 |
| // | 東野 浩和 |
| // | 牧岡 輝雄 |
| // | 下中 雅之 |

### 福井県後期高齢者医療広域連合議会

定数1人

|    |       |
|----|-------|
| 議員 | 竹本 雅之 |
|----|-------|

### 若狭広域行政事務組合議会

定数3人

|    |        |
|----|--------|
| 議員 | 武長 由里子 |
| // | 小澤 長純  |
| // | 今井 伸治  |

### 議会選出監査委員

今井 伸治

# くまなくチェック 委員会審査



## 6月補正予算の審査

小浜市企業振興助成金や定額減税補足給付金給付事業などが盛り込まれた6月補正予算案を可決しました。審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

### ■ 可決した令和7年度6月補正予算

| 会計名  | 既決予算額       | 補正額       | 補正後予算額      |
|------|-------------|-----------|-------------|
| 一般会計 | 171億2,500万円 | 2億9,904万円 | 174億2,404万円 |

### 小浜市企業振興助成金

1億円

#### 説明

小浜市企業振興助成金制度の指定要件を満たした事業者1社への助成金を追加するもの。

#### 問

地域経済への波及効果の観点から、今回助成対象とした工事における地元業者の施工実績は。

#### 答

今回は大手建設業者が施工したが、地元業者も一部を請け負ったことを確認している。事業者が行う施工業者の選定に市が介入することはできないが、今後同様の助成を行う場合に地元業者が施工に携わることができるよう、事業者には可能な範囲で依頼してまいりたい。

### 定額減税補足給付金給付事業

1億2761万8000円

#### 説明

令和6年度税制改正による定額減税において減税し切れなかった納税者に対して定額減税補足給付金を給付するもの。

#### 問

給付対象者に申請書の提出を依頼する通知を郵送したが、申請書の提出がない人への対応および辞退者の意思確認の方法は。

## ◆ 議会活動日誌 ◆

### ◆ 4月

2 (水) 嶺南市町議長会による中央要望(東京都内)

3 (木) 広報推進特別委員会

9 (水) 全員協議会、広報推進特別委員会

12 (土) 小浜市赤十字奉仕団大会

13 (日) 筆塚落成除幕式、小浜市の歴史と文化を守る市民の会総会および講演会

15 (火) 北信越市議会議長会定期総会(新潟県長岡市)

17 (木) 産業教育常任委員会と市内の不動産業者の方々の意見交換会

18 (金) 小浜市防犯隊委嘱状交付式および出動式

19 (土) 蘇洞門開き

20 (日) O B A M A 若狭マラソン大会

22 (火) 議会運営委員会

25 (金) 産業教育常任委員会、北陸新幹線小浜・京都ルート早期着工若狭の未来を実現する会の設立に向けた、福井県知事および福井県議会議長との面談(福井市、小浜市老人クラブ連合会総会)

27 (日) 小浜市障がい者スポーツ大会

### ◆ 5月

2 (金) 川越市公式使節団歓迎会

8 (木) 議会運営委員会

9 (金) 全員協議会、政策討論会

12 (月) 北陸新幹線建設促進大会および北陸新幹線建設促進同盟会総会(東京都内)

16 (金) 産業教育常任委員会、北陸新幹線小浜・京都ルート早期着工若狭の未来を実現する会設立総会

17 (土) 小浜市区長総会、小浜男女共同参画ネットワーク総会、大韓民国慶州市公式使節団歓迎会

20 (火) 全国市議会議長会定期総会および建設運輸委員会(東京都内)

**答**

申請書の提出がない人には再度通知を送ったが、申請はなかった。また、辞退者には、申請書に署名してもらったことにより意思確認を行っている。

**中山間総合対策支援事業（ハード事業）**

**1016万円**

**説明**

営農条件が厳しい中山間地域の営農者を対象に、農業用機械や施設の整備を支援するもの。

**問**

営農者の高齢化が大きな課題になっているが、担い手確保の見通しは。

**答**

今回支援する営農者の集落では将来の担い手が具体的には決まっていないが、集落内でグループを作って営農するといった持続可能な農業の形を積極的に模索していると聞いている。

**生活保護事務経費**

**267万円**

**説明**

生活保護世帯の調査および生活保護システムの改修に要する経費を追加するもの。

**問**

調査内容の詳細は。

**答**

調査は厚生労働省からの委託を受けて実施するもので、家計簿調査と生活実態調査の二つ。

家計簿調査は、現在の生活実態調査が適正であるかを見直すための基礎資料とすることを目的に実施される。生活保護世帯に家計簿を作成してもらい、それを基に一般世帯の生活と生活保護世帯の生活との間に隔たりがないかなどを調査するものである。生活実態調査は、生活保護の制度設計が適正であるかを検証するため、一般世帯と生活保護世帯の居住環境、子育ての状況、余暇の過ごし方などの幅広い生活実態を把握しようとするものである。

**条例の審査**

**小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の一部改正について**

**説明**

マイナンバーカードと健康保険証が一体となったことに伴い、マイナンバーカードにより医療保険給付関係情報を確認することができるよう、特定個人情報を追加するため、必要な改正を行うもの。

**問**

確認する医療保険給付関係情報の詳細は。

**答**

確認する情報は、医療費助成の受給者証の交付手続に必要とする健康保険の資格情報のみである。

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 21 | (水) | 北陸新幹線早期全線開業特別委員会、広報推進特別委員会、各派代表者会、鯖街道まちづくり連携協議会総会           |
| 22 | (木) | 西小川・加尾・宇久道路改良促進期成同盟会総会                                      |
| 23 | (金) | 議会運営委員会、小浜市総合卸売市場株式会社取締役会および株主総会、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜定時株主総会      |
| 24 | (土) | 小浜市議会災害対策連絡会議、小浜市防災訓練                                       |
| 27 | (火) | 全員協議会、各派代表者会  |
| 29 | (木) | 若狭マリニピア2025実行委員会  |
| ◆  | 6月  |   |
| 1  | (日) | 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会および講演会                                     |
| 2  | (月) | 令和7年第2回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、全員協議会                             |
| 5  | (木) | 北陸新幹線小浜・京都ルート早期着工若狭の未来を実現する会による中央要望（東京都内）                   |
| 6  | (金) | 総務民生常任委員会・分科会   |
| 7  | (土) | 若狭青年会議所創立五十五周年記念式典  |
| 8  | (日) | 第92回福井県視覚障害者福祉大会  |
| 9  | (月) | 産業教育分科会   |
| 10 | (火) | 広報委員会   |
| 14 | (土) | 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会理事會・総会・決起集会、北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会役員会 |
| 17 | (火) | 県立大学小浜・かつみキャンパスを育てる会総会および講演会                                |
| 18 | (水) | 令和7年第2回小浜市議会定例会、各派代表者会                                      |
| 19 | (木) | 各派代表者会、令和7年第2回小浜市議会定例会                                      |
| 20 | (金) | 予算決算常任委員会   |
| 25 | (水) | 議会運営委員会、全員協議会、令和7年第2回小浜市議会定例会                               |
| 27 | (金) | 議会報告会連絡会  |
| 30 | (月) | 若狭鯉川シーサイドパーク浜開き、小浜商工会議所議員懇親会                                |

# 市政を問う！一般質問

令和7年第2回(6月)小浜市議会定例会

| 氏名    | 質問項目  | 氏名     | 質問項目   |
|-------|---|--------|--|
| 佐野 達也 | 1. まちづくり小浜の第15期収支決算について<br>2. 小浜西組プロジェクトの進捗状況について             | 世戸 玉枝  | 1. 関西電力のロードマップ見直しについて<br>2. クリアランス集中処理事業について<br>3. 公衆トイレについて |
| 池田 英之 | 1. インバウンド観光の推進について<br>2. 行政のカスタマーハラスメント対策について<br>3. 熱中症対策について | 武長 由里子 | 1. 災害被災者に対する自治体の支援について<br>2. 個別避難計画について                      |
| 上野 一  | 1. 農業者への支援、米価高騰について   | 東野 浩和  | 1. 小浜市交通安全計画について   |
| 牧岡 輝雄 | 1. 北陸新幹線の事業推進調査について<br>2. 道路整備について                            | 浦谷 梨華子 | 1. 指定避難所の鍵解錠の対応について  |

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

## 西組の高付加価値化プロジェクトの進展



さの たつや  
佐野 達也



**問** 昨年度、市において進められていた小浜西組の面的な開発・高付加価値化プロジェクトに関する調査について伺う。

**答** 近年、行政のハード整備と民間のソフト事業との相乗効果が徐々に表れ、新店舗が出来てきていると認識している。一方、小浜西組の現状ではイベント開催時以外はまだ人通りが少なく、エリア全体の活性化につなげるためには、宿泊施設だけではなく、観光客がまち歩きをしながら買い物や飲食ができる場所を増やしていく必要がある。

分散型ホテルの先行事例である兵庫県丹波篠山市や愛媛県大洲市などを見ると、新規事業者の誘致や雇用の創出、伝統文化の継承等の面でも、波及効果は大きいと考えられる。このことから、本プロジェクトは単なる宿泊施設の整備ではなく、小浜市全体の集客力・ブランド力を高め、投資を呼び込むため、本市にとって大変重要であると認識している。

**問** プロジェクトに対する意気込みを伺う。

**答** 本プロジェクトは日本遺産プレミアム「御食国若狭と鯖街道」の構成文化財を活用した取組みであり、小浜市のブランド価値を大きく向上させるプロジェクトだと認識している。このプロジェクトが実現すれば、小浜のまちの姿を大きく変える可能性がある。観光振興だけでなく、空き家の利活用、地域経済の活性化、そして何より若者世代が小浜に希望を見いだせるような、魅力あるまちづくりにつながるかと確信している。

## インバウンド観光の推進で地域活性化を



いけだ ひでゆき  
池田 英之



**問** 本市におけるインバウンド客の入り込み推移について伺う。

**答** インバウンドの宿泊客は、令和元年の約4700人に対して令和6年は約8000人となっており、大幅に増加している。

**問** インバウンド観光の推進に当たり、今後力を入れる政策について伺う。

**答** インバウンド誘客を進める上で課題となるのは効果的なプロモーションと受け入れ体制の整備である。日本遺産プレミアム「御食国若狭と鯖街道」による京都とのつながりをアピールし広域観光ルートの造成を進め、京都に訪れている多くのインバウンド客を嶺南エリアに誘引してまいりたい。

**問** カスタマーハラスメント(カスハラ)対応マニュアルの作成・周知について伺う。

**答** カスハラを含めた「不当要求・ハードクレーム対応マニュアル」を7月をめどに策定する。策定後はマニュアルに基づき適切な対応を徹底し、より効果的なカスハラ対策による職員保護に取り組む。

**問** 高齢者への熱中症対策について伺う。

**答** 民生委員やひとり暮らし高齢者相談員の協力を得て、チラシを配布するなどして注意を呼び掛けている。

**問** 全庁体制による熱中症対策の取組みと市内事業所との連携について伺う。

**答** 全庁体制による速やかな情報収集と迅速かつ確実な情報伝達体制を強化し、市民の安全の確保に取り組んでいく。

## 農業者への支援、米価高騰について



うえの はじめ  
上野 一



**問** 担い手の意見は個々の農家全ての意見であり、非常に重みがある。その担い手に対する支援について伺う。(付属機械への支援等)

**答** 担い手に対する支援については、研修会の開催のほか、嶺南振興局やJA福井県、日本政策金融公庫と連携し、農業用施設、農業機械の購入費の補助などを行っている。

**問** 遊休農地の解消について伺う。

**答** 農地整備事業を活用した農地の集積および大区画化を積極的に進めている。遊休農地の所有者が農地バンクへ農地を貸し付け、農地バンクが営農組織や担い手へ貸し付けることで、遊休農地の解消につながった例もある。

**問** 電気柵・金網柵の新規設置や修繕について、特に修繕は自助・共助の限界を超えている。このことへの支援について伺う。

**答** 農家組合長を通じて地域に要望調査を行い、県の補助を活用して原材料支給等を行っている。

**問** 米価高騰の要因、生産者への影響について伺う。

**答** 米価高騰の要因として、昨年夏の南海トラフ地震臨時情報発表後の米の買い占め、インバウンド需要等による減少傾向だった需給バランスの変化、個人取引のECサイトでの大口注文などが考えられる。現在、国において米の需給や価格の在り方などを検討する「適正な価格形成に関する協議会」が設置され、本年6月には石破首相を議長とする「米の安定供給等実現関係閣僚会議」が開催された。

## 北陸新幹線の事業推進調査について



まきおか てるお  
牧岡 輝雄



**問** 京都府での説明会の進展状況を伺う。

**答** 京都・大阪の同意を得ることが、北陸新幹線敦賀以西の区間の認可・着工に不可欠であり、懸念事項に対し理解・納得していただくことが重要である。3月に京都府内自治体向けに開催された説明会での意見を踏まえ、国と鉄道・運輸機構は再度説明会を開催する準備を進めている。市は、今後も情報収集と状況把握に努める。

**問** 小浜市民向け説明会の開催時期を伺う。

**答** 県内の沿線住民が施工上の課題や京都市民が抱える懸念を理解することが重要であり、市民向け説明会の早期開催を国や鉄道・運輸機構に働き掛けたい。

**問** 新聞の見出しに掲載された「小浜ルート」という表現についての見解を伺う。

**答** 「小浜・京都ルート」が正式に決定されたルートであり、それ以外のルートは存在しない。「小浜ルート」という表現による誤解を防ぐため、今後、市民への丁寧な情報発信を行う。

**問** 令和7年度事業推進調査費の内容を伺う。

**答** 政府は令和7年度、事業推進調査費として14億5000万円を計上(前年度比1500万円増)。増額の具体的な内容は公表されていないが、新幹線小浜駅の追加ボーリング調査や構造検討に向け、鉄道・運輸機構と協議を進めており、今後も市は全面的に協力していく。



## クリアランス処理／公衆トイレ



せと たまえ  
せと 玉枝



**問** 原子力発電小浜市環境安全対策協議会(環安協)で、「再処理工場が完成しない場合はどうするのか」との質問に対し、関西電力は「仮定の問題には答えられない」と答弁。工場の完成を仮定で示したのは関電の方。使用済燃料対策ロードマップの見直しについて、市民への説明会が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 立地自治体議会での説明を除けば、県内では唯一、環安協で関電から説明を受けた。

**問** 廃炉原発から出た低レベルの放射性廃棄物をクリアランス金属に再利用する事業に、県と嶺南6市町が出資する。廃炉事業は、本来は事業者の責任。なぜ県や市町が出資するのか。

**答** 県と嶺南市町が地域経済の活性化等を目指す「嶺南Eコースト計画」の一環で進めている。

**問** 今までは、原発に対して、30キロ圏内に住む小浜市民には責任がなかった。が、廃棄物処理の中で問題が起きれば、これまでと違って、出資者として責任が生じるのでは。

**答** 原子力規制委員会の審査を受けて運営されるので、適正に管理されると考える。

**問** 小浜市の公衆トイレは残念ながら、使う人の身になって清掃作業がされているか疑問に思うケースもある。清掃事業者の選定、契約はどうなっているか。業務項目を細かく決め、市が現場に足しげく通うことが優れた事業者を育てるのではないか。

**答** 事業者や福祉関係団体等と業務委託契約を結んで、清掃頻度、範囲を定めている。市は定期的に巡回して適正履行を徹底している。

## 被災後の水道代の減免について



たけなが ゆりこ  
武長 由里子



**問** 災害における固定資産税の減免についてどのような規定があるのか。

**答** 被害を受けた家屋にかかる固定資産税については、倒壊・流失等により復旧不能な場合は全額を免除する。主要構造部分が著しく損傷している場合や屋根・内装・外壁・建具等が損傷した場合、床上浸水の被害を受けた場合などでは、被害の程度に応じて8割から4割を免除すると定めている。

**問** 減免の判定方法について伺う。

**答** 税務課職員が、現地調査により被災した家屋の損害の程度を確認し、その結果に基づき減免割合を決定し、国が定める「災害に係る住家の被害認定基準」に基づき、全壊・半壊・一部損壊などの損害割合を算出し決定する。

**問** 被災した家屋の再評価について伺う。

**答** 地方税法の規定に基づき、総務大臣が定める固定資産評価基準において、天災、火災その他特別な事由により、経過年数に応じた補正率による算出が適当でない場合は、評価額を見直すことができる。申し出があった場合には、適切に対応する。

**問** 被災者に対する水道代の減免措置について伺う。

**答** 床上浸水などの災害に遭われ、泥で汚れた家屋や敷地などの清掃に使用された水道水に対する水道料金の減免は行っていない。



## 小浜市交通安全計画の状況を問う



ひがしの ひろかず  
東野 浩和



**問** 本年度が第11次計画期間の最終年度となっている中、運転免許保有者の状況は。

**答** 運転免許保有者数は、前期の第10次および今期の第11次計画期間を通して減少している。年代別保有者割合については、若年層および壮年層・中年層の割合が減少してきている中、高齢者層の割合は毎年増加しており、令和6年には全体の3割を超える状況である。また、高齢者の中で高い年齢でも保有者割合が増加してきており、長く免許を保有し続けていると推測される。

**問** 交通事故の状況は。

**答** 物損事故および人身事故共に減少してきている。人身事故における死者数は、この9年間で8人となっている。

**問** 交通安全対策の取り組み状況は。

**答** ①「交通安全意識の普及徹底」として、幼児から高齢者までの年代に応じた交通安全教室の実施および各種団体と連携した啓発活動、②「高齢運転者対策の充実」として、各地区における市職員や交通安全指導員による年間を通じた交通安全教育の実施および運転免許証を自主返納しやすい環境整備の推進、③「道路交通環境の整備」として、生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備および災害に備えた避難道路の整備のほか、各地区からの要望に対しては、通学路交通安全プログラムとの整合性を図った上で、必要性の高いものから順次、整備やカーブミラーの設置を行っている。

## 災害時避難所の迅速な開設と安全確保を



うらたに りかこ  
浦谷 梨華子



**問** 災害時に指定避難所を開設する際の鍵の管理者について伺う。

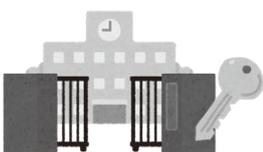
**答** 指定避難所の鍵は、避難所担当職員のうち、避難所ごとに、運営責任者となる職員を含む2名の職員が、平時から鍵を預かり管理する体制を取っている。

**問** 自主防災組織が避難所の鍵を解錠する体制について本市の考えを伺う。

**答** 震度5弱の地震が発生した場合には、災害警戒本部において開設すべき避難所を決定し、本部からの指示を受けた避難所担当職員が避難所に行き、建物等の安全性を確認した上で避難所を開設することとしており、自主防災組織が独自の判断で避難所の鍵を解錠する体制は、現時点では想定していない。

**問** 指定避難所へのキーボックス設置に対する市の見解について伺う。

**答** コミュニティセンターをはじめ、指定避難所となる多くの施設では、業務上さまざまな個人情報や物品等を管理しており、これらを安全に管理することができない可能性がある。また、建物等の安全性を確認せずに指定避難所を開設した場合には、避難した住民の安全を守れない可能性もある。このように、指定避難所へのキーボックスの設置については、さまざまな課題があることから、キーボックスを運用している他の自治体の取組みを確認してまいりたい。



# 令和7年第2回定例会採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

| 項目 | 件名   | 項目 | 件名  |
|----|--|----|---|
| 報告 | 令和6年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について                     | 条例 | 専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例の一部改正について)   |
|    | 令和6年度小浜市一般会計予算事故繰越しの報告について                     |    | 専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)                                      |
|    | 令和6年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について                      |    | 専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)  |
|    | 令和6年度小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について                     |    | 専決処分につき承認を求めることについて(地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく市税条例の特例に関する条例の一部改正について) |
|    | 株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について                     |    | 小浜市市税条例の一部改正について  |
|    | 小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について                       |    | 小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について      |
|    | 小浜市地域防災計画(一般災害対策編・地震(津波)災害対策編・原子力災害対策編)の改定について |    | 小浜市健康管理センターの設置および管理に関する条例の一部改正について  |
|    | 議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)          |    | 市会案   |
| 予算 | 専決処分につき承認を求めることについて(令和6年度小浜市一般会計補正予算(第11号))    | 人事 | 監査委員の選任について(今井伸治議員) ※   |
|    | 令和7年度小浜市一般会計補正予算(第1号)                          |    |   |

※今井伸治議員は除斥(規定により審議・採決に加っていません)

## 閉会中も調査を継続します

以下のテーマについて、定例会が開催されていない間も継続して調査することを決定しました。政策・施策が第6次小浜市総合計画の基本計画に沿って立案されているかなどの観点から、委員会審査に向けた論点を抽出し、審査の充実を図ります。

### 総務民生常任委員会

総務部、経営企画部、生活福祉部等の所管に属する事項に関する論点抽出

### 産業教育常任委員会

経済産業部、教育委員会の所管に属する事項に関する論点抽出

### 編集後記

おばま市議会だよりをお読みいただき、誠にありがとうございました。

市議会では、市の事業の審査や政策提言、所管事務の調査に加え、議会改革への取組み、さらには国の機関への意見書提出や要望活動など、幅広い活動を行っています。特に、北陸新幹線の早期全線開業実現に向けた取組みには、これまで多くの力を注いでまいりました。

今後もおばま市議会だよりを通じて、どのような議論をし、結論に至ったのかといった市議会の活動を分かりやすく、丁寧にお伝えしてまいります。

市民の皆さまにおかれましては、率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

広報委員会 委員長 牧岡輝雄

### ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を発信しています



# 市議会ホームページで 議案書を見ることができます

～ 議案書の公開を始めました ～



## 議会の動きをもっと身近に

市議会で審査する議案は、これまで一般には公開されていませんでした。そのため、市民の皆さまが本会議を傍聴したりチャンネルOで生中継を視聴したりしていても、議会でどのようなことが話し合われ、個々の議員が何に対して賛成または反対したのかを詳しく知ることが難しい状況でした。

そこで、令和7年6月定例会から、議案書を市議会と市のホームページで公開することにしました。

議案書は、定例会開会の約5日前までに公開します。ぜひ一度議案書をご覧ください。

市議会では、議会の活動や市政をもっと身近に感じてもらえるよう、取組みを進めてまいります。



## 議会を傍聴しませんか? ～9月定例会の予定～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に、必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合のよい時間に、ぜひお越しください。

- 9月 1日(月) 本会議・予算決算常任委員会
- 4日(木) 産業教育常任委員会・分科会調査
- 5日(金) 総務民生常任委員会・分科会調査
- 16日(火) 本会議(一般質問)
- 17日(水) //
- 18日(木) 予算決算常任委員会
- 22日(月) 本会議
- 24日(水) 総務民生分科会調査(令和6年度決算)

- 9月 25日(木) 総務民生分科会調査(令和6年度決算)
- 26日(金) 産業教育分科会調査(令和6年度決算)
- 29日(月) 産業教育分科会調査(令和6年度決算)
- 10月 3日(金) 予算決算常任委員会
- 8日(水) 本会議

※状況に応じて、変更が生じる場合があります